

保管用

DR20101AMP

- この度は日立照明信号増幅器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- 信号増幅器の取り付け工事は電気工事士の資格が必要です。施工は必ず有資格者に依頼してください。

【工事店様へ】この取扱説明書は、工事完了後、必ずお客様にお渡しください。

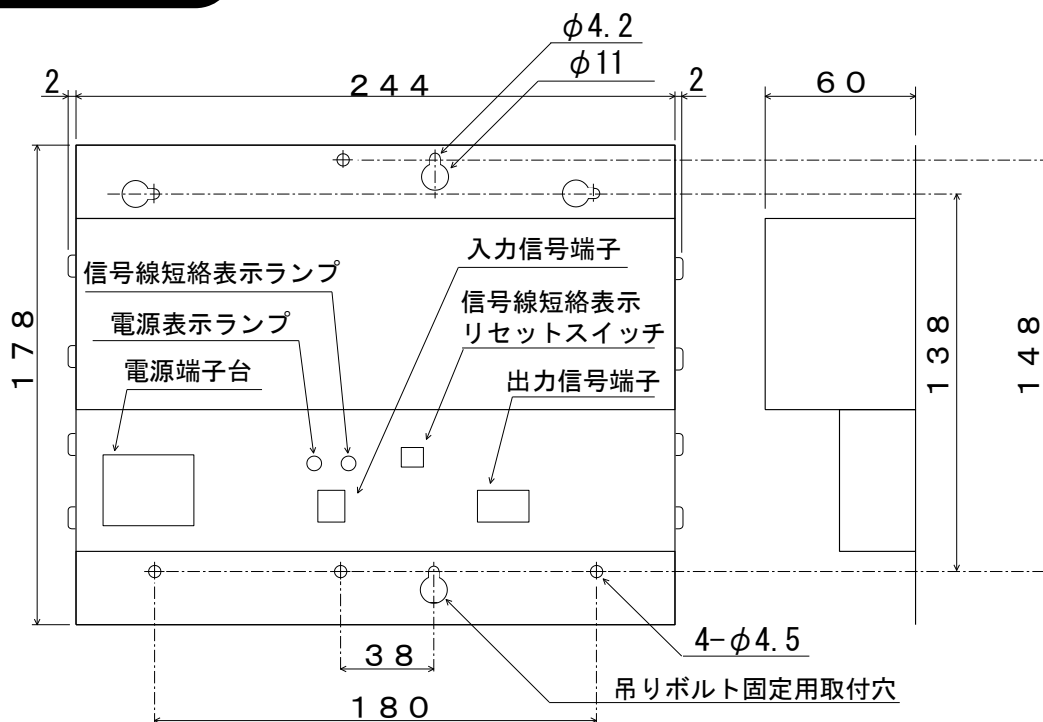
## 1. 概要

本増幅器は、制御装置の調光信号を受けて信号を増幅出力する装置で、信号伝達距離を延ばす場合及び制御台数を増加させるために使用します。

## 2. 仕様

- 1) 電源 : 200V 50/60Hz(入力電力:8W)
- 2) 制御回路 : 1回路(制御台数:最大100台)
- 3) 入出力信号 : DC10V 1kHz PWMデューティ信号
- 4) 信号配線長 : 最遠配線長200m(調光信号線:  $\phi 1.2$ CPEV-1P)
- 5) 使用環境 : 周囲温度:0~35°C 湿度:85%以下 但し、結露無きこと

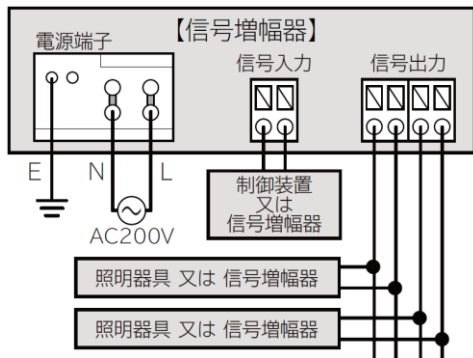
## 3. 寸法図



(吊りボルト固定金具はネグロス電工(株)製の  
TPC-4B,MSRB4等をご使用ください。

## 4. 結線方法および動作確認

### 4.1 接続図



### 4.2 信号線配線について

信号線配線1分岐での接続器具台数の目安

\* 110Wタイプ器具の場合

1分岐の接続台数=200m/約2.4m(器具長さ)  
=最大80台/分岐

\* 40Wタイプ器具の場合

1分岐の接続台数=200m/約1.2m(器具長さ)  
=最大100台/分岐

注) 増幅器の連結配線長は100~200mと  
してください。

### 4.3 動作確認

信号線配線後は照明器具が正常に調光動作することを必ず全数確認してください。

※照明器具が調光動作しない場合

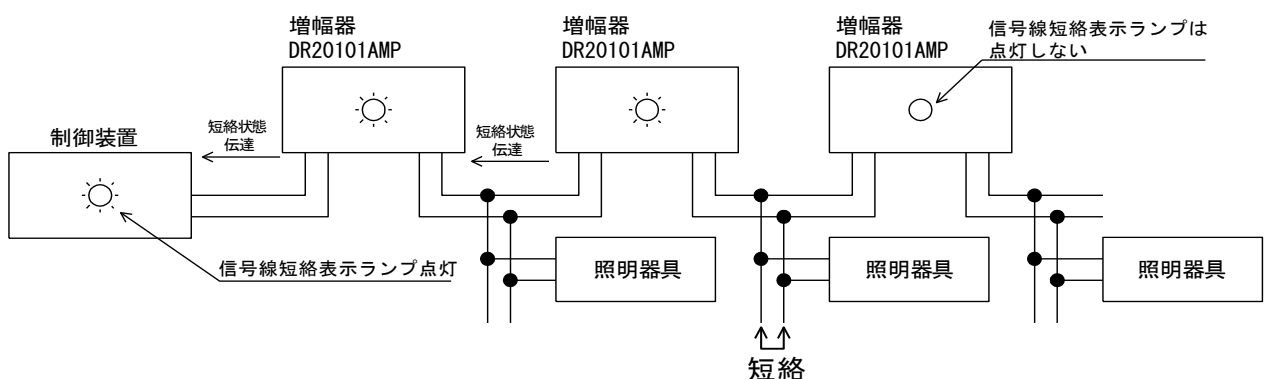
電源ランプ	信号線短絡表示ランプ	原因
点灯	点灯	信号線短絡、又は100台を超える照明器具 <sup>注1</sup> の接続
点灯	消灯	信号線が接続されていない
点滅	消灯	信号線短絡、又は100台を超える照明器具 <sup>注1</sup> の接続

\* 調光動作しない場合は電源を切り、信号線の接続及び接続台数を確認してください。

\* 信号線短絡表示ランプが点灯した場合、本増幅器の入力信号端子側に接続されている全ての増幅器及び制御装置の信号線短絡表示が点灯しますので、一度全ての電源を切り、表示をリセットしてください。また、リセットスイッチで表示をリセットする場合は、制御装置から最遠の増幅器から順次リセットし、最後に制御装置の電源を一度切った後に再度電源を投入してください。

注1) 2台の点灯装置が搭載されている照明器具の接続台数は1/2になります。

詳細は、照明器具の納入仕様書・取扱説明書を参照してください。



\* 制御装置及び増幅器からの信号が無い場合、照明器具は100%の明るさで点灯します。

## 5. その他

- 1) 信号線には極性が有りません。
- 2) 電源端子台のアース端子よりD種接地工事を施してください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12